

成果指標				
成果指標	当該年度の林道整備・除間伐材出荷促進事業実施体積+森林環境保全整備事業実施面積／昨年度の林道整備・除間伐材出荷促進事業実施体積+森林環境保全整備事業実施面積×100			
指標設定の考え方	森林の環境整備に直接影響する3事業について、各達成指標を連乗し昨年度の実績と比較することで効果を測る。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	0	0	0	0
実績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	地域林業振興のために是非とも必要である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	各補助金とも、地域林業の振興を図るうえで必要であるが、特に木材新築住宅建築支援事業について執行率が低く、木材利用拡大の観点から要望増に努める必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	